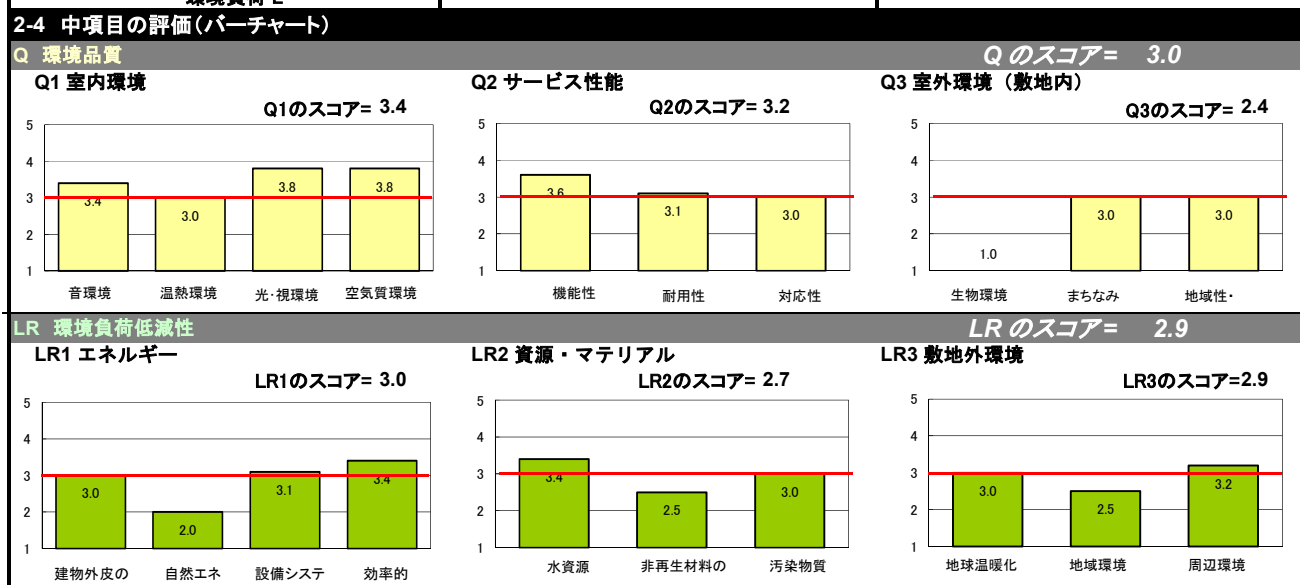
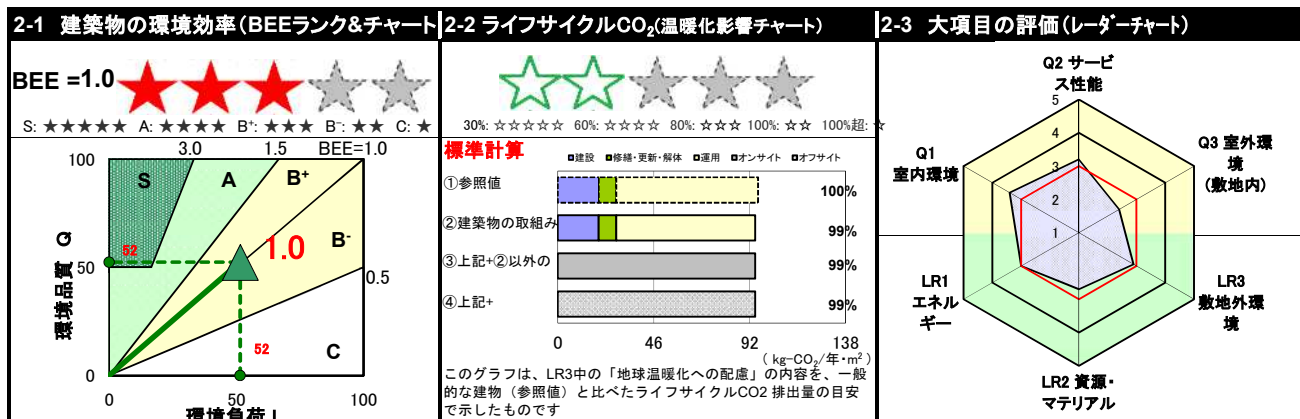


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尼崎市神田北通2丁目計画	階数	地上15F
建設地	兵庫県尼崎市神田北通2丁目20-2	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年10月 予定	評価の実施日	2025年2月5日
敷地面積	1,097 m ²	作成者	有限会社Cube設計事務所 山本 真
建築面積	495 m ²	確認日	2025年2月6日
延床面積	6,222 m ²	確認者	有限会社Cube設計事務所 山本 真裕



3 設計上の配慮事項		
総合 外皮に十分な断熱性能を仕上げて可能な限り施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器や 節水型機器を採用し、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。		その他 0
Q1 室内環境 F☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気汚染を回避しています。	Q2 サービス性能 給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用しています。	LR3 敷地外環境 LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される